



睡眠中に呼吸が止まる  
睡眠時無呼吸症候群（SAS）。日本で治療が必要な人は、三百万人ともいわれています。

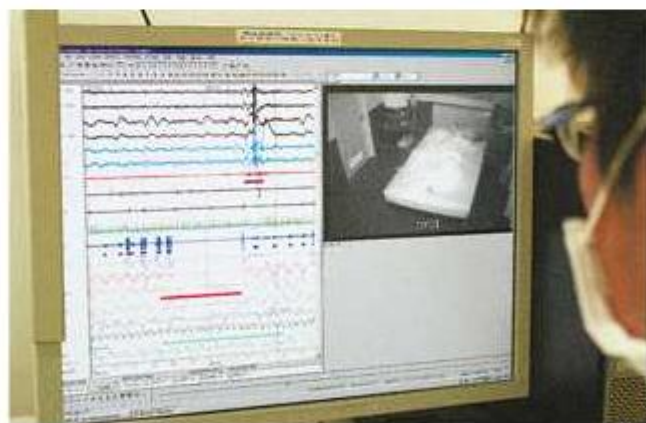
睡眠時に首回りの脂肪や舌などで上気道がふさがれ、息ができなくなります。一定以上呼吸が止まると、人間は呼吸を回復させようと、脳だけ起きて無理やり強い呼吸をします。それが大きいびきとして現れます。一時間に五回以上起き

## ⑤2 睡眠検査(臨床検査科)


るようならSAS。強く治療が勧められる二十回以上の人だと、一晩八時間のうち百六十回は目が覚めている。三分に一回、起こされているようなもの。本人は起きている自覚はありませんが、昼間に眠くなって居眠り運転や労災事故の危険が高まります。心臓や脳に悪影響を与え、糖尿病がひどくなる恐れがあります。

当院では一晩入院し、睡眠時の脳波や呼吸、目

睡眠時の脳波や呼吸などを映し出すモニター。名古屋市中区の中日病院で



や腹、のどなどの動きを機器を付けて調べ、SASを診断するPSG検査

 中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。 中日病院 052(961)2491

をしています。治療マスクを着けて寝れば、睡眠が劇的に改善します。SASは特に肥満でいびきをかく人、やせていても閉経後の女性は要注意。鼻と指に機器を付けて自宅で一晩調べる簡易検査もあります。

(近藤正伸臨床検査技師・談)

# 危険多い無呼吸症候群